

創業から現在までの成長

環境調査・分析事業の創設と始動



- 九州環境管理協会の設立(1971年)
- 環境計量事業の展開(1970年代)
- 環境放射能の調査分析開始(1970年代)
- ダイオキシンや環境ホルモンの分析といった新たな化学物質への課題(1980年代)
- ISO 9001品質マネジメントシステムの運用開始(1990年代)

1971

1980～1990



- 環境アセスメント等の開発行為の手続きに伴う生物調査
- ダム開発事業における環境モニタリング
- 環境アセスメント等の環境コンサルティング
- 自治体の環境計画の策定支援

生物調査、環境影響評価および
環境政策支援分野への展開

東日本大震災後の環境放射能測定への貢献



- 1F事故後、放射性ヨウ素・放射性セシウムのスクリーニング測定開始
- 東北・関東地域での環境水・土壌等の放射能調査
- 放射性ストロンチウム、放射性プルトニウムの分析
- 処理水放出に伴う水試料や海産生物試料のトリチウム測定
- 試験所・校正機関の技術能力を証明するISO/IEC 17025 認証取得

2011

2020



- 再生可能エネルギープロジェクトにおける環境影響評価
- 気候変動緩和対策の立案に関するコンサルティング

気候変動対策および
環境コンサルティングの強化

九環協の主要業務

自然環境保全・生物調査

- 植物、哺乳類、鳥類、魚類、昆虫類、プランクトンなどを対象とした陸域・水域生物調査
- 河川・藻場・干潟などの生物多様性と生態系の保全・再生に関する調査・支援



環境コンサルティング

- 環境影響評価(環境アセスメント)
- 環境に影響を与える可能性のある事業の有効性評価および課題解決に向けた対策提案



環境調査・分析

- 大気、水質、土壌などの環境試料について、NOx、SOx、COD、PFASなどの化学物質を分析・評価
- アスベストの同定・定量分析



自治体計画・政策の策定支援

- 農村環境の保全・管理計画
- 地域における生物多様性保全戦略

